

Actual result

活動実績

時代の変化とともに、血液事業も変化しています。献血協力や医療機関のニーズに対応した活動を展開し、新しい歴史を積み重ねています。

血液事業に多くの功績があった個人・団体を表彰。

毎年献血に多大なご協力をいただいた皆様に感謝の気持ちを込めて表彰を行っています。平成27年度も多くの個人・団体の皆様にご協力をいただき功労表彰を授与させていただきました。血液事業は、こうした多くの方々に支えられています。

献血功労表彰 Recognition

厚生労働大臣表彰状	
	4団体
天理教愛知教区三河献血会	
小島プレス労働組合	
エナジーサポート株式会社	
日立住友重機械建機クレーン株式会社 名古屋工場	

厚生労働大臣感謝状	
	11団体
名鉄自動車整備株式会社	
株式会社三ツ知春日井	
新東工業株式会社 大崎事業所	
フタバ産業株式会社 緑工場	
中央精機株式会社	
安城中央ライオンズクラブ	
西尾ライオンズクラブ	
西尾東ライオンズクラブ	
東洋紡株式会社犬山工場	
日本特殊塗料株式会社愛知工場	
ミヤマ精工株式会社	

愛知県知事感謝状	
○300回献血者	29名
○献血功労者	1名
○献血協力団体	26団体
株式会社三洋物産	
天理教愛知教区千種区支部	
中部電力労働組合 中営業所支部	
中部電力労働組合 中電力センター支部	
天理教愛知教区瑞穂区支部	
株式会社日立産機システム中部支部	
天理教愛知教区中川区支部	
医療法人 資生会 八事病院	
ハートの日実行委員会	
アイシン精機株式会社 新豊工場	
株式会社ジーエスエレテック	
中部電力労働組合 豊田電力センター支部	
オムロンミュージメント株式会社	
社会医療法人 大雄会	
株式会社日立アイイーシステム	
三菱電機株式会社 稲沢製作所	
オムロンオートモーティブエレクトロニクス株式会社	
株式会社日本アクセス中部オフィス	
アイシン精機株式会社	
中部電力労働組合 刈谷電力所支部	

NOKグループユニオン中部支部	
株式会社三五	
株式会社中村精機音羽製作所	
株式会社シーヴィテック	
株式会社 ジャパンディスプレイ 東浦工場	
愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院	

○献血功労団体	8団体
天理教愛知教区北区支部	
イオンモール株式会社イオン春日井ショッピングセンター	
株式会社バロー 春日井西店	
イオンリテール株式会社イオン小牧店	
イオンモール扶桑	
株式会社げんきの郷	
愛知グレースライオンズクラブ	
有限会社 加藤新聞店	

日本赤十字社表彰	
○日本赤十字社社長感謝状（30年以上）	25団体
ブラザー工業労働組合	
愛知県豊橋警察署	
NTT労働組合 東海総支部 三河分会	
中部電力労働組合 豊橋営業所支部	
中部電力労働組合 豊橋電力センター支部	
愛知県岡崎警察署	
岡崎竜城ライオンズクラブ	
日新製鋼株式会社 衣浦製造所	
安城中央ライオンズクラブ	
中部精機株式会社	
日医工株式会社 愛知工場	
日本特殊塗料株式会社 愛知工場	
株式会社イノアックコーポレーション 安城事業所	
株式会社UAC.J押出加工名古屋 安城製作所	
倉敷紡績株式会社 安城工場	
デンソー献血会（西尾製作所）	
株式会社ニデック	
蒲郡ライオンズクラブ	
江南市職員献血グループ	
江南市水道工事店協同組合	
サンハウス食品株式会社	
日本メナード化粧品株式会社 稲沢工場	
東レ労働組合 東海支部	
田原ライオンズクラブ	
トヨタ自動車株式会社 田原工場	

○金色有功章（献血100回以上）	289名
○金色有功章（20年以上）	44団体
天理教愛知教区西区支部	
新日本法規ABOの会	
東芝コンシューママーケティング株式会社 中部支社	
中央発條株式会社 本社工場	
アスモ株式会社 豊橋工場	
学校法人 藤ノ花学園 豊橋創造大学	
中部ガス株式会社 豊橋支店・豊橋供給センター	
武蔵精密工業株式会社 第一明海工場	
愛知県医薬品配置協議会 西三河支部	
アンデン株式会社 岡崎工場	
天理教愛知教区尾西支部	
豊田合成株式会社 尾西工場	
河村電器産業株式会社	
豊精密工業株式会社	
天理教愛知教区東知多支部	
コニカミノルタ株式会社 豊川サイト	
マルヤス工業株式会社 御津工場	
天理教愛知教区海部津支部	
愛知県豊田警察署	
株式会社オティックス高岡	
株式会社イナテック	
愛知県蒲郡警察署	
天理教愛知教区西知多支部	
天理教愛知教区尾北支部	
株式会社足立ライト工業所	
中部電力労働組合 小牧営業所支部	
東罐興業株式会社 小牧工場	
マルマテクニカ株式会社 名古屋事業所	
豊田合成株式会社 稲沢工場	
オーエスジー株式会社 八名工場	
公明党 東海支部	
アスタック株式会社	
株式会社 槌屋 知立工場	
独立行政法人労働者健康福祉機構 旭労災病院	
石塚硝子株式会社	
フタバ産業株式会社 田原工場	
豊田合成株式会社 本社	
豊田合成株式会社 春日工場	
天理教愛知教区尾東支部	
天理教愛知教区瀬戸支部	
医療法人医仁会 さくら総合病院	
豊橋ちぎりライオンズクラブ	

岡崎南ライオンズクラブ	
蒲郡マリンライオンズクラブ	

○銀色有功章（献血70回以上）	459名
○銀色有功章（15年以上）	19団体
株式会社ジェイテクト 豊橋工場	
潮干会	
天理教愛知教区春日井支部	
オーエスジー株式会社 R&Dセンター	
新東工業株式会社 一宮事業所	
愛知県刈谷警察署	
天理教愛知教区東西加茂支部	
デンソー献血会（安城製作所）	
デンソー献血会（高棚製作所）	
極東開発工業株式会社 名古屋工場	
豊田合成株式会社 北島技術センター	
豊田合成株式会社 西溝口工場	
豊田合成株式会社 平和町工場	
知多市つつじが丘コミュニティ	
東海興業精機株式会社	
中部電力労働組合 名古屋総支部 岩倉電力センター支部	
愛知県立三好特別支援学校	
東海カーボン株式会社 知多工場	
刈谷ライオンズクラブ	

○支部長感謝状（銀枠 5年以上）	16団体
株式会社セントラル コンコルドグループ	
パナソニックコンシューマーマーケティング株式会社	
トヨタホーム名古屋株式会社	
一宮土木協同組合	
豊田合成株式会社 瀬戸工場	
アイシン精機株式会社 半田電子工場	
株式会社 ISOWA	
サトープレス工業株式会社	
愛知県トラック協会尾東支部青年部会	
布目電機株式会社	
豊田合成株式会社 美和技術センター	
株式会社ティラド	
イオンモール株式会社 mozoワンダーシティ	
名古屋シニアライオンズクラブ	
ユニー株式会社 リーフウォーク稲沢	
リソラ大府ショッピングテラス	

○支部長感謝状（金枠 10年以上）	14団体
岡崎信用金庫 上前津支店 他名古屋市内17店舗	
一宮市指定水道工事店協同組合青年部	
株式会社中京医薬品	
河原紙器株式会社	
株式会社三河機工	
大和ハウス工業株式会社 愛知北支店	
株式会社ジェイテクト 田戸岬工場	
株式会社キクテック	
株式会社ジャパンディスプレイ	
名古屋クオリティライオンズクラブ	
中日新聞緑支部青年会	
株式会社三河屋	
フィール稲沢店	
ユニー株式会社 ピアゴ八剣店	

○支部長感謝状（銀枠 5年以上）	16団体
株式会社セントラル コンコルドグループ	
パナソニックコンシューマーマーケティング株式会社	
トヨタホーム名古屋株式会社	
一宮土木協同組合	
豊田合成株式会社 瀬戸工場	
アイシン精機株式会社 半田電子工場	
株式会社 ISOWA	
サトープレス工業株式会社	
愛知県トラック協会尾東支部青年部会	
布目電機株式会社	
豊田合成株式会社 美和技術センター	
株式会社ティラド	
イオンモール株式会社 mozoワンダーシティ	
名古屋シニアライオンズクラブ	
ユニー株式会社 リーフウォーク稲沢	
リソラ大府ショッピングテラス	

（順不同・敬称略）

Actual result

幅広い活動で献血協力を呼びかける。

平成27年度に行った主な活動内容です。
献血協力を呼びかけるキャンペーン活動から血液事業を啓発する活動まで幅広く展開し、血液の確保に向けて広く呼びかけを行いました。

□ 平成27年度日誌 Diary



Actual result

新たな歴史を積み重ねて着実な歩み続ける。

昭和37年の開設以来、輸血を必要とする患者さんのため
時代とともに、着実な歩みが続けています。

沿革History

	愛知の動き	全国の動き
1960	昭和37.10 名古屋第一赤十字病院内に愛知県赤十字血液銀行を開設 昭和39.12 愛知県赤十字血液センターと名称を改める 昭和41. 6 採血出張所を開設(豊橋・岡崎・一宮・半田・瀬戸) 昭和43. 1 東海北陸7県(富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・愛知県・三重県)の調整センターとして保存血液の需給調整を開始 昭和43.11 豊橋採血出張所を廃止し、愛知県赤十字血液センターの支所として新社屋を建設(豊橋市橋良町)、愛知県豊橋赤十字血液センターを開設、業務開始 昭和44. 8 愛知県Rh(－)友の会を結成	昭和27.4 日本赤十字社血液銀行東京業務所開設 昭和31.6 「採血及び供血あっせん業取締法」公布 昭和35.8 「薬事法」公布 昭和39.8 「献血の推進について」閣議決定 昭和44 民間商業血液銀行の買血による輸血用血液の供給中止
1970	昭和45. 4 血液低比重者の諸検査開始 昭和46. 3 日赤愛知県支部との合同庁舎(名古屋市中区三の丸)に移転、業務開始 昭和46. 4 支所として運営されてきた愛知県豊橋赤十字血液センターが豊橋赤十字血液センターとして独立 昭和47. 3 県内の預血業務が全廃され献血一本化となる 昭和48. 4 名古屋市内及び尾張部について輸血用血液の直配開始 昭和49. 4 血液代金自己負担金給付制度実施 昭和52. 4 一宮出張所を廃止し、移動採血車の定期巡回場所に改める 昭和54. 4 採血が瓶採血からビニールバック採血に切替る 昭和54.11 開設以来、献血者150万人達成	昭和49 民間商業血液銀行が預血制度廃止(献血100％体制確立) 昭和50 日本民間放送連盟主催「第1回はたちの献血」キャンペーン開始
1980	昭和57. 2 分室を中区丸の内三丁目5番地10号住友商事丸ノ内ビル9階に新設 昭和57. 4 全国一斉に献血手帳の様式一部改正(供給欄削除) 献血者全員に血液型及び生化学検査結果の通知を開始 昭和57. 6 半田出張所を廃止し、移動採血車の定期巡回場所に改める 昭和59. 4 東海北陸7県(富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県)の基幹センターとして輸血用血液の需給調整及び技術指導開始 昭和61. 3 事務所棟増築完成(豊橋赤十字血液センター) 昭和61. 4 名古屋市中区錦三丁目22番14号(マルニシビル5階)に栄出張所(献血ルーム)を開設 愛知県学生献血連盟発足 昭和61.10 東三河地域に血小板等の特殊血液のみ直配実施 昭和62. 1 名古屋市熱田区一番に白鳥出張所(献血車基地)を開設 昭和62. 3 瀬戸市南山口町に社屋新築移転、業務開始(愛知県赤十字血液センター) 昭和62. 4 名古屋市中区三の丸旧社屋に三の丸出張所(献血ルーム)を開設 昭和62. 8 西三河部への輸血用血液の直配開始 昭和62. 9 第11回日本血液事業学会総会を愛知県勤労会館で開催 昭和63. 7 輸血用血液の全面直配開始(豊橋赤十字血液センター) 昭和63.10 名古屋市千種区星が丘元町1502番地(第一星ヶ丘ビル2階)に星ヶ丘出張所(献血ルーム)を開設 平成 1. 1 愛知県内の献血者延500万人達成	昭和58.6 日本赤十字社血漿分画事業開始 昭和61.4 「採血及び供血あっせん業取締法」一部改正に伴う新採血基準採用(400mL、成分採血導入) 昭和61 HIV抗体検査及びHTLV－I抗体検査を開始
1990	平成 2. 3 豊橋市東脇に社屋新築移転、業務開始(豊橋赤十字血液センター) 平成 2. 6 名古屋市中区栄三丁目15番地33号(栄ガスビル9階)に栄出張所(献血ルーム)を移転開設 平成 3. 3 岡崎市康生通西2丁目20番地(シビコ5階)に岡崎出張所(献血ルーム)を開設 平成 3.12 血液センター組織に地方骨髓データセンター設置 平成 4. 6 名古屋市中村区名駅四丁目26番地7号(名駅ＵＦビル5階)に名古屋駅前出張所(献血ルーム)を開設 平成 4.11 赤血球M・A・P「日赤」の調整供給開始(愛知県赤十字血液センター) 平成 5. 4 赤血球M・A・P「日赤」の調整供給開始(豊橋赤十字血液センター) 平成 5.10 三の丸出張所を名古屋市東区白壁一丁目50番地(愛知県白壁庁舎内)に白壁出張所(献血ルーム)として移転開設	平成1 HbC抗体、HCV抗体検査開始 平成2 民間製薬会社による有償採漿中止 平成 4. 1 赤血球M・A・P「日赤」の製造承認許可 平成 5. 8 「自己輸血協力要綱」作成 平成 7. 4 献血表彰制度の一部改正と献血換算回数変更 平成 7. 7 統一した献血申込書及び問診票導入

	愛知の動き	全国の動き
1990	平成 6. 1 自己輸血協力開始 平成 6. 3 愛知県内血液センター需給計画委員会設置 平成 6. 4 輸血用血液への放射線照射協力開始(愛知県赤十字血液センター) 平成 6. 9 輸血用血液への放射線照射協力開始(豊橋赤十字血液センター) 平成 7. 3 第43回日本輸血学会総会を名古屋国際会議場で開催 平成 8.10 白壁出張所の検査部門を愛知県赤十字血液センターに集約 平成 9. 4 東海北陸8県(富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県)の基幹センターとして、輸血用血液の需給調整及び技術指導開始 豊田市若宮町一丁目57番地1(A館 T－F A C E 9階)に豊田出張所(献血ルーム)を開設 平成 9. 7 白壁出張所の供給部門を愛知県赤十字血液センターに集約 平成 9.10 白壁出張所の製造部門を愛知県赤十字血液センターに集約 平成11. 4 県内血液センター―体運営開始、これに伴い、豊橋赤十字血液センターを愛知県豊橋赤十字血液センターに改称し、検査業務を愛知センターに集約 刈谷市南桜町一丁目73番地(O T A ビル4階)に刈谷出張所(献血ルーム)を開設 平成11. 8 名古屋市熱田区金山町1－202(東和ビル(メガネプラザビル)7階)に金山出張所(献血ルーム)を開設 平成11.11 愛知県赤十字血液センター北館完成	平成10. 6 放射線照射輸血用血液が国に認可され供給開始 平成11. 4 血小板成分献血を除き、献血年齢の上限が満64歳から満69歳に引上げ 平成11. 5 献血者情報の全国一元管理システムが稼働 平成11.10 HTLV－I抗体検査結果が異常な場合、希望者への通知を開始。これに伴い献血申込書の内容一部変更 核酸増幅検査(NAT)実施の輸血用血液を供給開始 平成14. 4 HCV抗体陽性者への通知基準の変更 平成14. 7 薬事法及び採血及び供血あっせん業取締法の一部を改正する法律の公布 「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」(新血液法)公布 平成14. 8 有償採血の禁止 平成15. 7 「薬事法」の一部改正及び「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」(新血液法)施行 平成16. 1 安全対策に対する日本赤十字社の取組み(8項目) 平成16.10 献血受付時の本人確認実施開始 日本赤十字社血液事業本部設置 平成17. 4 改正薬事法施行 平成17. 6 問診による欧州渡航歴の献血制限開始 平成17. 7 6ヵ月以上貯留保管した新鮮凍結血漿「日赤」(F F P)の供給開始 平成18. 3 タッチパネル方式による問診回答方式の導入 成分採血由来新鮮凍結血漿保存前白血球除去製剤製造開始 平成18. 8 人免疫グロブリン製剤「日赤ポリグロビン」販売開始 平成18. 9 成分採血由来新鮮凍結血漿保存前白血球除去製剤出庫開始 平成18.10 献血手帳の磁気カード化開始 平成19. 1 全血採血由来保存前白血球除去製剤製造開始 平成19. 8 全血採血由来保存前白血球除去血漿製剤供給開始 平成19.11 血小板製剤の有効期間(採血後4日間)変更 平成20. 7 初流血除去を実施した成分採血由来製剤新鮮凍結血漿「日赤」(FFP-5)の供給開始 平成21. 3 糖尿病関連の検査(グリコアルブミン検査)開始 平成21.10 血漿分画製剤の販売名、包装表示等の変更 平成22. 1 英国滞在歴に関する献血制限の緩和 平成22. 2 販売名変更代替新規承認品目濃厚血小板-LR「日赤」、濃厚血小板HLA-LR「日赤」、照射濃厚血小板-LR「日赤」、照射濃厚血小板HLA-LR「日赤」の製造・供給開始。 新鮮凍結血漿-LR「日赤」の製造開始。 血液型、生化学検査及び血球計数検査成績の通知対象者の拡充 平成23. 4 採血基準の改正(男性に限り400mL献血が可能な方の年齢の下限を、「18歳」から「17歳」に引き下げ。男性に限り血小板成分献血が可能な方の年齢の上限を、「54歳」から「69歳」に引き上げ。 平成26. 6 血液事業情報システム導入 平成26. 8 特殊製剤国内自給向上対策事業の実施 個別核酸増幅検査(NAT)の導入
2000	平成12. 3 愛知県赤十字血液センター本館増改築工事完成 平成13. 2 名古屋市中村区名駅三丁目28番地12号(大名古屋ビルヂング3階)に名古屋駅前出張所(大名古屋ビル献血ルーム)を移転開設 平成13. 9 第25回日本血液事業学会総会を名古屋国際会議場で開催 平成15. 2 愛知県内の献血者延1,000万人達成 平成15. 3 星ヶ丘出張所(献血ルーム)閉所 平成15. 5 岡崎市明大寺町字寺東1－1(名鉄東岡崎駅南館5階)に岡崎出張所(献血ルーム)を移転開設 平成16. 6 第二次全国統一システム稼働 平成17. 1 新鮮凍結血漿貯留保管用冷凍室完成 平成17. 6 愛知県赤十字血液センター献血推進本部設置 平成17.10 白鳥出張所(献血バス基地)を閉所し、愛知県赤十字血液センターに移動採血部門を集約 愛知県豊橋赤十字血液センターの製造部門を愛知県赤十字血液センターに集約 平成18. 3 複数回献血クラブ「四季桜の会」の設立 平成18. 9 白壁出張所(献血ルーム)の閉所 平成18.10 名古屋市中区大須三丁目30-40(大須万松寺ビル1階)に大須出張所(献血ルーム)を開設 岐阜県赤十字血液センターとの検査業務集約 成分採血(血小板)の初流血除去開始 平成19. 2 全血採血の初流血除去開始 静岡県赤十字血液センターとの検査業務集約 三重県赤十字血液センターとの検査業務集約 平成19. 5 成分採血(血漿)の初流血除去開始 平成20. 6 岐阜県赤十字血液センターとの製剤業務集約 平成20. 8 製剤ラベルの変更 平成21. 4 三重県赤十字血液センターとの製剤業務集約 平成21.11 第33回日本血液事業学会総会(第20回国際輸血学会アジア部会併設)を名古屋国際会議場で開催	平成16.10 献血受付時の本人確認実施開始 日本赤十字社血液事業本部設置 平成17. 4 改正薬事法施行 平成17. 6 問診による欧州渡航歴の献血制限開始 平成17. 7 6ヵ月以上貯留保管した新鮮凍結血漿「日赤」(F F P)の供給開始 平成18. 3 タッチパネル方式による問診回答方式の導入 成分採血由来新鮮凍結血漿保存前白血球除去製剤製造開始 平成18. 8 人免疫グロブリン製剤「日赤ポリグロビン」販売開始 平成18. 9 成分採血由来新鮮凍結血漿保存前白血球除去製剤出庫開始 平成18.10 献血手帳の磁気カード化開始 平成19. 1 全血採血由来保存前白血球除去製剤製造開始 平成19. 8 全血採血由来保存前白血球除去血漿製剤供給開始 平成19.11 血小板製剤の有効期間(採血後4日間)変更 平成20. 7 初流血除去を実施した成分採血由来製剤新鮮凍結血漿「日赤」(FFP-5)の供給開始 平成21. 3 糖尿病関連の検査(グリコアルブミン検査)開始 平成21.10 血漿分画製剤の販売名、包装表示等の変更 平成22. 1 英国滞在歴に関する献血制限の緩和 平成22. 2 販売名変更代替新規承認品目濃厚血小板-LR「日赤」、濃厚血小板HLA-LR「日赤」、照射濃厚血小板-LR「日赤」、照射濃厚血小板HLA-LR「日赤」の製造・供給開始。 新鮮凍結血漿-LR「日赤」の製造開始。 血液型、生化学検査及び血球計数検査成績の通知対象者の拡充 平成23. 4 採血基準の改正(男性に限り400mL献血が可能な方の年齢の下限を、「18歳」から「17歳」に引き下げ。男性に限り血小板成分献血が可能な方の年齢の上限を、「54歳」から「69歳」に引き上げ。 平成26. 6 血液事業情報システム導入 平成26. 8 特殊製剤国内自給向上対策事業の実施 個別核酸増幅検査(NAT)の導入
2010	平成22. 5 第58回日本輸血・細胞治療学会総会を名古屋国際会議場で開催 平成23.10 JRセントラルタワーズ20階に名古屋駅前出張所を移転開設 平成23.11 愛知県赤十字血液センター製造棟完成 平成24. 3 静岡県赤十字血液センターとの製剤業務集約 平成24. 4 広域事業運営体制開始 製造棟施設が東海北陸ブロック血液センターとして業務開始 愛知県豊橋赤十字血液センターを愛知県赤十字血液センター豊橋出張所に改める 県境を越える供給エリアの変更開始(岐阜県東濃地域⇄愛知県西尾張地域) 豊橋出張所を豊橋事業所に改める 平成25. 4 第50回献血運動推進全国大会を愛知芸術文化センターで開催	平成22.12 血液型、生化学検査及び血球計数検査成績の通知対象者の拡充 平成23. 4 採血基準の改正(男性に限り400mL献血が可能な方の年齢の下限を、「18歳」から「17歳」に引き下げ。男性に限り血小板成分献血が可能な方の年齢の上限を、「54歳」から「69歳」に引き上げ。 平成26. 6 血液事業情報システム導入 平成26. 8 特殊製剤国内自給向上対策事業の実施 個別核酸増幅検査(NAT)の導入